



# 文化博物館だより 第201号

2007年12月28日

みなさん、こんにちは。いよいよ今年も終わりが近づきましたね。もうこの1年の大掃除は済みましたか？2007年最後の「博物館だより」は新春展のお知らせです！

## 文博に神様が来訪

新春1月4日（金）から開催される、特別展『遠き道展』の搬入が行われました。今回は、階段横のスペースにも展示されるため、専門の業者の方がはしごや階段での作業用台を使いながら絵をかけていました。迫力の風神・雷神が並んで、受付ににらみをきかせて（?!）います。

下の写真の風神・雷神以外にも、1階ロビーには、インドや中国の神様が描かれた作品が並び、新春の文化博物館ロビーで10月の出雲にも負けぬ様子をご覧くださいませ。



『遠き道展』の出品作品は、150号前後の大作の日本画が約50点。公募展などで認められた現代日本画家たちの才能を堪能していただけます。



階段に平らな足場ができるスグレモノ！

新春特別展 『遠き道展 - はて無き精進の道程 - 』  
会期：2008年1月4日（金）～1月27日（日）会期中無休  
開館時間：9時半～17時半（入館は17時迄）

## 見たこと、ありますか？

点字で書かれたものを、見たことがありますか？

点字資料を所蔵している図書館などもありますが、視覚に障害がある方でなければわざわざ開いてみることもないかもしれません。

『遠き道展』では、視覚に障害をもった方への平面作品の鑑賞の試みを行います。そのひとつが、点字の図録やチラシです。

右の写真は点字のポスター。よくあるプチプチと穴があいたものとはまた違って、特殊な紙に印刷して点字が浮き出ています。下のほうにイラストのようなものが見えますか？わかりにくいかもしれませんが、出品作品のひとつ「光の采・662」です。このほか、直接手で触って鑑賞する石膏レリーフの作品もあります。点字ポスターは、盲学校など以外では掲示されていないのですが、触る展示はどなたでも鑑賞していただけますので、目で見て手で触って、ぜひお楽しみください。



点字が立体コピーされたポスター

## 1月のイベントのご紹介(特別展関連・その他)

イベント	日時	定員	申込
オープニングギャラリートーク	1月4日(金) 午後13時半～	-	-
ワークショップ 「蜜蝋を使った絵を描こう！」	1月13日(日) 午前10時～	10名(視覚障害者の方向け)	電話にて受付中
ギャラリートーク	午後14時～	-	-
特別講演会 「絵をみる楽しみ」	1月19日(土) 午後14時～	100名	当日、整理券を配布
十二単・鎧・衣冠の着付	1月12日(土) 午後14時～、午後	各時間 十二単1人、 鎧か衣冠1人	1月5日(土) 午前9時～ 当館にて 電話受付
	1月27日(日) 14時40分～		
	1月17日(木) 午前10時30分～、 午前11時10分～		
新春琴の調べ	1月14日(月・祝) 午後14時～15時	-	-
獅子舞	午前11時～	-	-
すりこぎとんぼとわりばし鉄砲	1月27日(日) 午前13時半～15時	20名 (小学生以上対象)	1月15日(火) 午前9時～電話 受付

明石市立文化博物館 電話：078-918-5400

特別展関連は、オープニングに出品作家・主催者がギャラリートークを行います。珍しい視覚障害の方を対象にしたイベントも。

また、1月ということで琴や獅子舞、恒例の十二単・鎧・衣冠の着付などお正月らしい催しを予定しています。

今回はちょっと拡大版でお届けしました。いかがでしたでしょうか。

文化博物館は、本日が年内仕事納め。とはいってもお正月休みにやらねばならない事が山積・・・というのは私だけでしょうか？わかっているのに毎年、年末にバタバタしてしまうのは何故なのでしょう。あれもこれも・・・と後回しにしていたり忘れていたことを、どうにかやっしまわねばと考えると気ぜわしくなります(気持ちばかりで手は進んでなかったり・・・)。

さて、文化博物館の新年は、4日(金)から、それと同時に『遠き道展』も始まります。

お参りも済んで、来る年賀状の数がまばらになった頃でしょうか。まだ冬休みも残っていますし、「そうだ、文化博物館に行こうか」と『遠き道展』を見に来てください。年末とはうってかわって、ゆったりとした優雅な気持ちでお正月が過ごせるかもしれませんよ。

購読いただいた皆様、今年1年ありがとうございました。2008年もひきつづき、文化博物館と「文博だより」をどうぞよろしく願います。それでは、また新年にお会いしましょう\ (^ ^)